

# ちの市議会だより

第26号

2018年8月22日

発行／茅野市議会  
編集／議会広報部  
〒391-8501  
長野県茅野市塚原二丁目6番1号  
☎ 0266-72-2101  
FAX 0266-73-7936  
<http://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索 茅野市議会 検索

目次

委員会の審査	37
本会議討論	39
議決結果・賛否一覧	41
陳情議決結果	41
一般質問通告一覧	42
委員会の紹介・会派の紹介	44
シリーズ「市民は議員の そこが知りたい」	45
議会報告・意見交換会、 編集至より	46
	47

茅野市議会

「議会改革を進めます」中間報告

議会基本条例検討会

会長 北沢 千登勢

「議会基本条例ってなに?」と感じる方も多いと思います。簡単に言えば、議会の意義、責務、活動方針を明確にし公開することで、市民の期待に相應る議会を目指そうとする条例です。条例の制定状況としては、全国では797自治体、長野県内では県と11市23町村が制定しています(平成29年7月24日現在)。こうした全国的な流れを鑑み、茅野市議会でもこの条例が市民や議会にとって必要か検討するための部会を立ち上げました。条例の必要性について他市町村から学ぶために、すでに条例制定している下諏訪町議会や岡谷市議会、今年度制定予定の諏訪市議会と勉強会を重ねてきました。議会改革先進地の飯綱町議会では、市民に望まれる議会、市民とともに歩む議会を追求する姿勢が議会基本条例に盛り込まれていることに感銘を受けました。議会基本条例の必要性の検討は、茅野市議会が市民のために果たすべき役割を改めて考えるきっかけになると確信しております。



飯綱町視察の様子

議員定数、常任委員会組織、議員報酬検討会

会長 山岸 正衛

「議員定数、常任委員会組織、議員報酬検討会」の進捗状況についてお知らせします。この会は議員番号が奇数の議員9名で構成されています。常任委員会組織については定数に関係してくるので、定数と報酬から先に検討することにしました。左の表をご覧ください。これらは調査した一部で、常任委員会組織についても調査していますが省略します。これらを元に検討しています。また、諏訪市、塩尻市への視察を7月に行い、他市の状況についても調査を行います。

	議員定数(人)	一般議員報酬(月額)
茅野市	18	33万2千円
全国※1	平均	20.2
	最大	28
	最小	12
県内※2	平均	22
	最大	39
	最小	15
岡谷市	18	35万3千円
諏訪市	15	34万9千円
下諏訪町	13	23万7千円
富士見町	11	20万1千円
原村	11	18万3千円

※1 全国813市の内、人口5万~6万未満の83市  
※2 長野県内19市

平成30年6月定例会  
のあらまし

茅野市議会6月定例会は、5月25日(金)から6月19日(火)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など22議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。

また、陳情3件が審議され、2件が採択、1件が趣旨採択となり、意見書案2件が可決されました。

委員会における主な  
議案の審査

予算決算委員会

委員長 宮坂 武男

議案第43号

平成30年度茅野市一般会計  
補正予算(第1号)に  
ついて

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億5723万5千円を追加し、250億2723万5千円とするもの。

主な補正内容(歳出)

・産学公連携事業でスワリカブラ

ンド創出事業費として5100万円を増。

・健康管理センター運営事業費で健康管理センター北側駐車場の整備のための、設計委託料及び、工事費として1926万5千円の増。  
・自然災害防止事業費(小江川)で3500万円の増。

総務環境委員会

委員長 北沢 千登勢

議案第32号(〜36号)

岡谷市(※)と茅野市との間の  
証明書等の交付等に係る事務  
の相互委託の廃止について

(※諏訪市・下諏訪町・  
富士見町・原村との間の)

可決

この議案は、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、富士見町及び原村と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止をするためのもの。

**問** 「6市町村相互で行っている証明書交付の現状についてはどのような状況か。」

**答** 「平成14年から各市町村にG4ファックス機を設置し、申請書を送り、証明書の交付を受けている。16年が経過し、この4月でサービスが終了する予定だった

が、サービスの継続を求めて6市町村の担当部局が関係業者と折衝し、機器の保守と部品調達を含めて、何とか来年3月末まで延長の協議が整った。茅野市民が他市町村で交付を受けた取扱い件数は、平成28年度は2064件、平成29年度は1784件である。」

**問** 「コンビニ交付のメリットや利便性に関してはどうか。」

**答** 「各市町村窓口のG4ファックス機での取扱いは、平日午前8時30分〜午後5時15分までの交付になる。しかし、コンビニ交付は毎日午前6時30分〜午後11時まで利用できる。平成29年3月末現在ではマルチコピー機がコンビニだけでなく薬局、ショッピングモール、郵便局など全国5万3千店舗、今現在は5万4千店舗まで拡大され、利便性は向上する。」



マルチコピー機 (イメージ)

**問** 「役所での証明書交付の方が安心感があるという市民のために、6市町村窓口でサービスを継続することはいかがか。」

**答** 「マルチコピー機を各市町村窓口を設置することも検討したが、一台約400万円かかり、マルチコピー機を取り扱う店舗が多いことから、今のところ役所に設置する考えはない。」

**問** 「茅野市と地区コミュニティセンターは証明書交付のやり取りが出来ている。なぜ他市町村とは同じ仕組みで出来ないのか。」

**答** 「地区コミュニティセンターでの証明書発行業務は、一般的な庁内事務として市役所窓口から直接プリンターに出力される。一方で、茅野市と他市町村は別の団体なので、発行の仕組みが全く違う。制度的には、茅野市で発行する証明書は茅野市でしか発行出来ない。しかし、市民の利便性を向上させるために、地方自治法の事務委託として例外的に出来るようにしてきた。相互委託契約はセキュリティを担保しながら例外的な扱いでやってきた。」

【討論】

● 反対討論

「住民サービスと利便性の向上と  
のことだが、マイナンバーカード

の普及率が1割強という中では、とても限定的であり、明らかにマイナナンバーカードを想定し、意識している。また、庁内での交付という安心感が担保されないのは不自然で、利便性の向上とは思えないので、反対。」

●賛成討論

「諏訪広域で行なわれているG4ファックス機での住民票等の交付サービスは、機器の保守が平成30年4月末で終了になるが、担当部署の努力で平成31年3月末まで延長することになった。このサービスが終了する1ヶ月前にコンビニ交付が始まり、市民サービスが途切れることはない。これからは全国5万4千店舗で、毎日午前6時30分から午後11時まで交付サービスが受けられる。事務相互委託契約廃止とコンビニ交付への移行は、諏訪広域の将来性を見据えた住民サービスの向上につながると考え、賛成。」

議案第37号  
茅野市の特定の事務の郵便局における取扱いの廃止について



この議案は、市内の郵便局において実施してきた証明書等の交付等に係る事務を廃止するためのもの。

**問** 「郵便局の廃止について、コンビニ交付も全く同じ仕組みになるのか。またサービスはコンビニでしか受けられないのか。」

**答** 「市内にマルチコピー機が設置されている店舗は、約20か所のコンビニチェーン店。全国ではコンビニ、ショッピングモール、薬局、JASTOA、郵便局にも設置が進んでいる。郵便局については、蓼科郵便局に設置してもらうよう日本郵便信越支社に要望している。」

**問** 「蓼科別荘地に住む交通手段のない高齢者の利便性と、地区コミュニティセンターにある機器を郵便局に入れる考えはなかったのか。」

**答** 「蓼科郵便局にはほとんどの人が車で来る。また、機器については地区コミュニティセンターの仕組みと同じファックス機が設置されている。しかし、老朽化が進み、証明書がきちんと出力されないこと、また、平成27年に茅野駅前と本町郵便局の2局のみが終了したことで、市民に迷惑がかり窓口対応に苦慮することがあった。終了するなら全局一斉に終了してほしいとの要望もあり、協議が整った。」

【討論】

●反対討論

「茅野市はきめ細やかなサービスがあり、素晴らしいと思っている。なぜサービスを拡充しないのか。なぜ機器が古くなったからといって廃止するのか。住みやすい環境を整えるという意思が感じられないので、反対。」

●賛成討論

「このサービスは、時代とともに一定の役割は終えたと感じる。地区コミュニティセンターで証明書の発行は出来るし、コンビニ交付も始まる。市としても、信越郵政局に蓼科郵便局へのマルチコピー機の設置を、要望していることを踏まえ、賛成。」

議案第38号  
岡谷市と茅野市との間の戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託について



この議案は、岡谷市と茅野市との間の戸籍に係る電子情報処理組織の事務を委託するもの。

**問** 「時系列の中で、もう少し詳しい経緯を説明してほしい。」

**答** 「茅野市は、県内でも早く日立の戸籍システムを導入したが、他の市町村は富士ゼロックス

の導入が始まっていた。今回コンビニシステムを構築するに当たり、他の5市町村は富士ゼロックスのコンビニシステムを構築していた。そこに日立の戸籍システムを連携させるよりも、6市町村共同で富士ゼロックスの戸籍システムを導入することで、安定した漏えいのないセキュリティの担保ができるシステムを構築できると考えた。この先10年間の試算では、今のシステムを継続するよりも約1700万円安くなる。そういった理由から、戸籍システムを6市町村、合わせることにした。」

議案第39号  
茅野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、多機能端末機による印鑑登録証明書の交付等を行うためのもの。

**問** 「マルチコピー機を導入すれば、どのくらいマイナンバーカードが普及すると見込んでいるのか。」

**答** 「5月末現在の申請率は11.8%で、内訳は男性が2949人、女性が2392人。年齢別では18歳以下が262人、19歳が

ら74歳までが3790人、75歳以上が1289人という状況であり、県内市町村の中では12番目の申請率である。今後あらゆる媒体を使い申請の普及に取り組むが、目標を何%にするという設定は今のところない。6月議会以降住民周知を徹底していくために、この議会にあらゆる議案を提案した。」

**問** 「コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要になるが、印鑑証明の制度改正だけでなく、他の証明書の発行に条例は必要ないか。」

**答** 「機械から証明書を発行するシステムに、法的整備は必要ないと理解している。」

【討論】

● 反対討論

「マイナンバーカードの普及がなぜ進まないのか。それは、個人番号に対する情報漏えいの危険性があるからだ。また、用途を拡大するほどリスクは大きくなる。マイナンバーカードを普及させるがための条例には賛成できない。」

● 賛成討論

「マイナンバーカードにリスクや弊害は感じるが、市民の立場に立てば飛躍的に市民サービスが向上する。上級官庁とともに、しっかりとしたりスク管理をすることを期待して賛成。」

議案第40号

茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、富士見町及び原村と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止等に伴い、関係規定を整備するためのもの。

【討論】

● 反対討論

「議案第32号から議案第36号を反対した立場なので、関係するこの議案も反対。」

● 賛成討論

「前よりサービスが低下することなく、新たに利便性も向上すると解釈して賛成。」

経済建設委員会

委員長 長田 近夫

陳情1

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨採択

趣旨採択の意見

「最低賃金を上げてくれと言うこ

とは分かるが、中小企業の経営のことも考えると趣旨採択が良い。」  
「企業の立場、それから労働者の立場、双方を踏まえた時には趣旨採択が良い。」



福祉教育委員会

委員長 丸茂 岳人

議案第42号  
茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

**問** 「今の2つの項が追加されたことで茅野市に影響があるか。」

**答** 「茅野市は指定都市になっていないため、この条項が加わったことで、多く変わることはなく、関連した条例の項ずれの部分の改正のみになる。」

陳情2

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

採択

採択の意見

「未来を担う子どもたちが豊かな教育を受けて、それを支援していくのは地方議員の役目だと思うので採択。」

「市町村による教育の格差が発生するようであれば、それは平等に欠けている、国の支援をあげることで、教育の格差が少しでも是正されることはいいことだと思うので、採択。」

陳情3

国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書

採択

採択の意見

「多様な子どもたち、問題を持つ子どもたちも増えている中で、先生たちの負担はいかほどか心配している。先生の負担が減って、子どもにしっかりと教育の目がいくようにしてもらいたいので、採択。」  
「時代が変わり、家庭環境とかいんな問題が学校の責任として持たされているところがあり、先生のマンパワーが必要で、先生の負担を緩和するためにも、採択。」

本会議における討論

議案第32号（36号）

岡谷市（※）と茅野市との間の  
証明書等の交付等に係る事務  
の相互委託の廃止について

（※諏訪市・下諏訪町・  
富士見町・原村との間の）

可決

● 反対討論

「茅野市民へのサービスで言えば他の市町村役場での証明書等の取得が相当数多くあり、廃止することとは住民サービスの低下に繋がる。代わりにコンビニ利用をと言うが、コンビニ利用にはマイナンバーカード取得・利用が条件であり、取得率11%の現状では全ての人に開かれたサービスとは言えない。よって、この条例廃止はサービスの低下を意味し、反対。」

● 賛成討論

「諏訪広域で行っている住民票等の交付サービスについては、機器の保守が平成30年4月末で契約満了だったが、コンビニサービスが始まる1ヵ月先の平成31年4月まで、担当部局における努力で現行サービスの延命がはかられ、コンビニでの証明書交付サービスへの円滑な移行がされること。今までのサービスでは、各市町村の窓口が開いている時間内に市役所

等に行かなければ、証明書等が受け取れなかったものが、近くのコンビニでは毎日朝6時半から夜11時まで証明書等のサービスが受けられることを考えれば、住民サービス向上につながると考え、賛成。」

議案第37号

茅野市の特定の事務の郵便局  
における取扱いの  
廃止について

可決

● 反対討論

「利用者は多くないものの蓼科郵便局、玉川郵便局の近くには、コミュニティセンターはなく、証明書の発行を引き続き実施するべきであると考え、反対。」

● 賛成討論

「このサービスは当時の信越郵政局からの要望を受けて開始した。機器の老朽化と取扱件数が少ないことから、茅野駅前とちの本町郵便局の取扱を終了した経過がある。説明の中で、機器の老朽化が進み、証明書が交付できずコミュニティセンターに回っていただいたとのこともあり、このままでは、郵便局、市側双方で安定したサービスの提供が継続できないと考えられる。来年3月からコンビニでの証明書交付サービスは、利便性の高い公平・公正な社会を実現するための整備であり、郵便局において

もマルチコピー機の設置は拡大されていくことから、将来を見据えた住民サービス向上事業であるため、賛成。」

議案第39号

茅野市印鑑の登録及び証明に  
関する条例の一部を改正する  
条例について

可決

● 反対討論

「印鑑証明は個人財産の利活用に大きく関わる。マイナンバーカードでコンビニでの証明書発行が可能になり、利便性は失われないと説明だが、なりすましや、カードの置忘れ、暗証番号の覗き見など危険性が多く含まれている。」

「世界最先端IT国家創造宣言」では、今後クレジットカードや図書館の利用カード、デジタルテレビでの証明書発行手続きも実現していくと書かれている。図書館の利用カードやテレビの視聴など、権力がそのデータを手にすることは、個人の思想信条の侵害になる可能性がある。マイナンバーカードの利用は極力抑制的であらねばならないとの考えから、反対。」

● 賛成討論

「現代社会において、多機能端末機が出現した。これらのものを利用しながら利便性を得ることによって現代の積み重ねをしてきた。」

リスク管理の問題があるわけだが、これを取り除いていくということも併せての利便性を図る進歩である。進歩が人間にとって、有用であるという立場から賛成。」

議案第40号

茅野市個人情報保護条例の  
一部を改正する条例に  
ついて

可決

● 反対討論

「郵便局は、以前は公務員だった。この議案は、その郵便局と諏訪6市町村の役場で共同して行ってきた住民サービスを止めるもの。現状は全住民対象のサービスを、マイナンバーカード所得者である11%の住民に絞ることは、全体の奉仕者としての公務労働に反するので、反対。」

● 賛成討論

「この条例中には個人情報保護として、実施期間以外に提出をしてはならないという規定がある上で、除外する分野を否定している。この除外する分野は契約を破棄に至る5市町村および右翼に関して除外する規定になっている。もとの条例が廃止にいたる中ではここに該当にする文章の削除であって、当然であるため、賛成。」

## 6月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。
 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算

番 号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 結 果	松 山 孝 志	丸 茂 岳 人	伊 藤 正 陽	小 尾 一 郎	長 田 近 夫	矢 島 正 恒	両 角 秀 喜	小 松 一 平	伊 藤 賢 保	樋 口 敏 之	篠 原 啓 郎	山 岸 正 衛	望 月 克 治	宮 坂 武 男	北 沢 千 登 勢	伊 藤 玲 子		
27	茅野市民栄誉賞の受賞者の決定について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	茅野市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	平成29年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市 長 提 出 議 案	32	岡谷市と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	
	33	諏訪市と茅野市との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	
	34	茅野市と下諏訪町との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	
	35	茅野市と富士見町との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	
	36	茅野市と原村との間の証明書等の交付等に係る事務の相互委託の廃止について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	
	37	茅野市の特定の事務の郵便局における取扱いの廃止について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○
	38	岡谷市と茅野市との間の戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	39	茅野市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○
	40	茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○
	41	茅野市税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報 告	2	専決処分の報告について																			
	3	平成29年度茅野市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について																			
	4	平成29年度茅野市水道事業会計予算の繰越について																			
	5	茅野市総合サービス株式会社の経営状況について																			
	6	株式会社地域文化創造の経営状況について																			
	陳 情	1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	経	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2		義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3		国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議 員 提 出 議 案	1	意見書案の提出について(義務教育費国庫負担制度の堅持を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	意見書案の提出について(国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議決日は、6月19日の議会最終日(但し、議案第27、28、29、30、31号は、5月25日の開会日に即決)

## 平成30年6月定例会 陳情 議決結果

番 号	表 題	趣 旨	提 出 者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	地方経済を再生させ、国民が健康で文化的な最低限の生活を営むため、国に対し、最低賃金の地域格差をなくし大幅に引き上げるとともに中小企業支援策の拡充を求めるもの。	諏訪地区労働組合連合会	趣旨採択	趣旨採択
陳情2	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書	平成31年度予算編成にあたり、国に対し、教育の機会均等と維持向上のため義務教育費国庫負担制度を堅持・拡充し、また、国の負担率を2分の1に復元することを求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採 択	採 択
陳情3	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	すべての子どもに行き届いた教育をするため、国に対し、国の責任による35人学級の計画的推進と教育予算の増額を求めるもの。	長野県教職員組合諏訪支部	採 択	採 択

### 茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

## 6月定例会一般質問通告一覧

	件 名	要 旨
篠原啓郎	1 ため池(白樺湖・蓼科湖)の防災・減災の政策体系について	(1) ため池の一点検結果について (2) ハザードマップの作成方法について (3) 保全管理体制及び情報連絡体制について
	2 湯川バイパスと県道諏訪茅野線について	(1) 湯川バイパスの進捗状況について (2) 湯川バイパス完成後の県道諏訪茅野線の道路改良について
矢島正恒	3 暮らしの中で幸せを感じる地域づくりのための、在宅医療・介護連携や認知症施策の推進について	(1) 国が提唱する「新しい地域支援事業(包括的支援事業)」の取組状況と、今後の事業推進について (2) 地域包括支援センターの運営状況と今後の充実について
	4 本年からスタートした、第5次茅野市総合計画を踏まえた道路行政について	(1) 市道の整備・改良が早急に必要な箇所付くと、今後の整備方針及び具体的な取組について (2) 「市道1級17号線」の歩行者の安全確保と道路改良整備について (3) 福沢工業団地に隣接する企業の事業拡大に伴う「市道1級8号線」の道路改良整備について
伊藤玲子	5 子どもが幸せに暮らせる教育環境の充実について	(1) 通学路の安全確保について (2) 学校給食の充実について (3) 小中学校におけるエアコンの設置について (4) 子どもの豊かな放課後の過ごし方について (5) 子育て環境と子どもの貧困対策の充実について
	6 諏訪大社前宮から諏訪大社本宮にかけての散策マップについて	(1) 散策マップの必要性について
丸茂岳人	7 人手不足の現状と対策及び創業支援に向けた取組	(1) 現状分析、空洞化の実態 (2) 事業継承支援について (3) 自動化・省力化の促進支援について (4) 企業における65歳以上の雇用実態 (5) 公立諏訪東京理科大生に求められる力 (6) 新規進出企業の雇用環境 (7) 新規就業者の宅地環境について (8) 創業支援事業 (9) 雇用が増えれば人口は増えるのか

	件名	要旨
山岸正衛	8 2027年開催の(第82回)国民体育大会について	(1) スピードスケートの競技を茅野市へ誘致することについて
	9 特定外来植物の駆除について	(1) 駆除の現状について (2) 市民総参加で駆除することについて (3) 茅野市の環境の日の設定について
	10 災害用備蓄食糧について	(1) 現在の備蓄食糧について (2) 賞味期限の近づいたものについて
北沢千登勢	11 ハケ岳総合博物館の活動を支える基盤づくりについて	(1) 「世界かんがい施設遺産」滝之湯堰・大河原堰と坂本養川に関する資料の収集・保存とその活用方法 (2) 市民研究員の育成と機器の充実は進んでいるか (3) 博物館敷地の有効利用
	12 茅野市金銭物品等の寄附募集に関する条例について	(1) 条例の廃止について
長田近夫	13 ヘルプマークの普及推進について	(1) 普及への取組について
	14 認知症への取組について	(1) 認知症の実態について (2) 新オレンジプラン策定後の市の取組について (3) 学校教育などにより認知症への理解を深めるための教育について (4) 地域における認知症への支援について
両角秀喜	15 健康長寿への取組について	(1) 健康長寿の現状について (2) 生活習慣の改善への取組について (3) 高齢者の健康長寿への取組について (4) 心のケアへの取組について
松山孝志	16 市民生活を裏方で支える人を表彰することについて	(1) 市民が適用を受ける表彰には、どのような制度があるか (2) 市民表彰の規程の見直しについて
	17 自主防災組織力の強化・充実について	(1) 自主防災組織の活動の現状について (2) 防災リーダーの育成について (3) 補助金制度の見直しについて
小池賢保	18 図書館について	(1) 図書館利用の現状について (2) 図書館の安全対策について (3) 図書館の使命について (4) 公立諏訪東京理科大学との諏訪地域公共図書館情報ネットワークについて (5) 庁舎内の各部署にある図書について (6) 特色ある図書館とは
伊藤勝	19 太陽光発電施設について	(1) 現在の問題点は何か (2) ガイドラインについて (3) 条例策定について
	20 市内公立高校について	(1) 今年の入学者数をどう見ているか (2) 地域とのつながりをもっている高校生の活動について (3) 行政の関わりを強めることについて
伊藤正陽	21 子ども・障害者・高齢者の医療費窓口無料化と子どもの医療費無料年齢の18歳への引き上げについて	(1) 子どもの医療費の完全無料化(レセプト代無料)について (2) 障害者・高齢者の医療費窓口無料化について (3) 子どもの医療費無料年齢を18歳まで引き上げることについて
	22 子どもの貧困対策について	(1) 生活困窮家庭の子どもたちの学習・習い事や行楽などの生活実態はどうか (2) 子どもがいる生活困窮家庭への経済的支援について (3) 生活困窮家庭の子どもの実態に合った支援について
望月克治	23 障がい者等の移動の権利に対する取組について	(1) 駅西口に新たに設置された“ハートフル駐車場”は活用されていますか (2) 障がい者等の移動に合理的配慮はなされていますか
	24 市内各所で進められる太陽光発電施設について	(1) 市内では年間で何件のガイドラインによる申請がありますか (2) 再生可能エネルギー関連の環境審議会への諮問は年間何件ありますか (3) 再生可能エネルギーに特化した機関等の設置はできませんか
樋口敏之	25 保育園統廃合の現状とこれからについて	(1) 検討委員会の経過とポイント整理について (2) バランスある保育園への入園のあり方 (3) まちづくりと統廃合問題について
小松一平	26 小中学校の部活動について	(1) 部活動の実態について (2) 部活動をどうとらえているか (3) 部活動に厳しさは必要か (4) 先生の働き方改革への対応 (5) スポーツ庁のガイドラインへの対応について

### 総務環境委員長 北沢 千登勢

今年度は市制施行60周年を迎え、「第5次茅野市総合計画」の初年度として新たなまちづくりがスタートする転換点となる年です。当委員会は、税の適正な徴収、公共施設総合管理計画の個別計画策定、公共交通の維持、市民活動や地域コミュニティ活性化の支援、マイナンバーカードの普及等すべての市民の生活に直結する施策を所管します。財政の健全性を維持しつつ少子高齢化、人口減少対策や地域創生、防災力の強化等議論を深め、茅野市のさらなる発展に尽くします。

### 総務環境副委員長 松山 孝志

平成30年度、この4月より第5次茅野市総合計画がスタートしました。少子高齢化社会に加えて人口減少の進展を併せ持つ社会へ舵を切ることとなります。右肩上がりの背景の中だけの思考方法も舵を切らなければならないのではないかと重く感じるものです。総務環境に関わる施策が方向付けをする初年度です。10年後の到達点が大きくずれないための慎重な審査を委員長補佐の立場で努めていきます。

### 経済建設委員長 長田 近夫

当委員会は、産業経済部、都市建設部、農業委員会に関する事項を受け持っています。今年から、第5次茅野市総合計画が策定されました。今後10年間の施策実行、実現に向けて活発な委員会運営を行います。十分な議論と調査、研究を基に、茅野市経済の活性化を目指し関係団体と共に連携して参ります。少子高齢社会に立ち向かって、茅野創生の一年にしたいと考えます。

### 経済建設副委員長 矢島 正恒

委員長を補佐し、経済建設関連の議案や陳情・意見書などについて、常任委員会として、活発な議論としっかりとした考え方のもとに、厳しく審査するとともに、円滑な委員会運営に努めてまいります。

### 福祉教育委員長 丸茂 岳人

当委員会においては、市の福祉と教育に関する事項を所管します。急速に進む少子高齢化の中で、福祉と教育にかかわる事項は国と地方自治体にとって最重要課題であり、社会保障費の増大と税収減という時代の中で、今後、市としても難しいかじ取りを迫られます。各世代の皆様が安心して暮らしていくために、福祉と教育はどうあるべきか、所管委員会として調査・研究の上、しっかりとチェックして参ります。

### 福祉教育副委員長 両角 秀喜

丸茂委員長を補佐し、委員会での活発な意見を促すとともに、スムーズな審査進行となるよう、努めて参ります。一年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 総務環境委員会



後列左から…伊藤 勝 樋口敏之 小松一平  
両角昌英  
前列左から…松山孝志(副委員長)  
北沢千登勢(委員長)

## 経済建設委員会



後列左から…望月克治 篠原啓郎 小池賢保  
小尾一郎  
前列左から…長田近夫(委員長)  
矢島正恒(副委員長)

## 福祉教育委員会



後列左から…伊藤玲子 宮坂武男 山岸正衛  
伊藤正陽  
前列左から…丸茂岳人(委員長)  
両角秀喜(副委員長)

# 委員会紹介

5月に常任委員会及び議会運営委員会の正副委員長が交代しました。  
(平成30年5月25日から)

### 予算決算委員長 宮坂 武男

平成30年度の予算は一年限りのものであります。しかし、その波及効果は、後年度にも大きく影響することは当然のことですので、その配分と金額は的を射たものでなければなりません。首長も住民福祉の増進と地域の発展を寄与するものとして、自信をもって予算案を提出されると思いますが、議会は議会の立場で住民の心を心として、その施策は適切であるか、計上された予算に過不足はないか、また決算においても済んでしまったことだとして安易に取り組まないで十分に議論を重ね修正すべき点があれば手を加え、より良い予算決算にしたいと念願しております。

### 予算決算副委員長 小尾 一郎

委員会が円滑にして効率的な運営が行われ、平穏な中でも闊達な議論のもと、茅野市の予算及び決算の検証が行えるよう委員長を補佐することが副委員長の役割と感じております。そして、議員各位が、市民の皆様の代理として、充分その職務を果たせる委員会運営となるよう心がけ、副委員長として委員会に臨みます。

## 予算決算委員会



左から…宮坂武男(委員長)  
小尾一郎(副委員長)

※予算決算委員会は全議員が所属

### 議会運営委員長 篠原 啓郎

今年は、市政60周年。議会は、15回目選挙の任期最終年となります。この間、条例・規則・茅野市議会特有の先例・申し合わせ事項を併用し、議会機能が温故知新的に引き継がれています。さて議会運営委員会は、平成3年に第3の委員会として法制化され、その任務は自治法で議会内部事項と限定しているため、直接市民とかわる機会の少ない委員会です。議会の根底を支え、市民の負託に応えるべく質の高い議会運営を目指します。

### 議会運営副委員長 伊藤 勝

7年前に初めて議員になった時、成り行きで議連の副委員長を仰せつかりました。その折には、ただ鎮座しているだけでした。今回は議員2期目の最終年であり、多少の気持ちの余裕もあるつもりなので、委員長をしっかりサポートして、より良い議会運営が出来ればと考えています。

## 議会運営委員会



後列左から…両角秀喜 丸茂岳人 小松一平  
小池賢保 伊藤玲子 両角昌英  
前列左から…伊藤 勝(副委員長)  
篠原啓郎(委員長)

## 会派の紹介

会派とは、同じ理念や主張を共有する議員の集まりです。茅野市議会では、2人以上により結成されています。

### やくどう 「躍動ちの」

代表者 矢島正恒  
所属議員 矢島正恒、丸茂岳人、小松一平、山岸正衛  
結成年月日 平成27年5月19日

目的 私たちは、茅野市政の発展に寄与することを目的とし、常に改革を意識し、市政に市民の声を反映させるとともに、積極的な調査、研究、議論を重ね、行財政のチェックのほか政策等を提言し、元気な茅野市を目指します。

### こう さい 「光彩」

代表者 北沢千登勢  
所属議員 北沢千登勢、長田近夫、樋口敏之、篠原啓郎、宮坂武男  
結成年月日 平成30年5月23日

目的 茅野市議会の申し合わせ事項には会派の組織についての定めはあるものの、代表者会議や政務活動費、代表質問等いわゆる会派の機能について協議されることなく現在に至っています。他会派等とも協議しながら会派のあり方や位置づけを明確にし、さらなる議会改革を進めることを最大の目的とします。

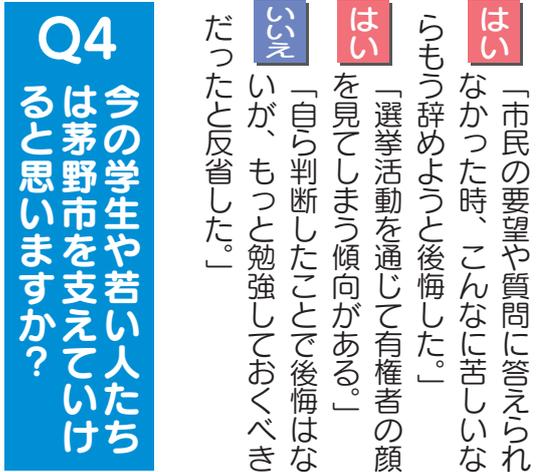
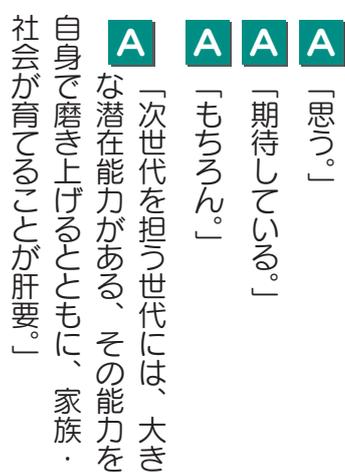
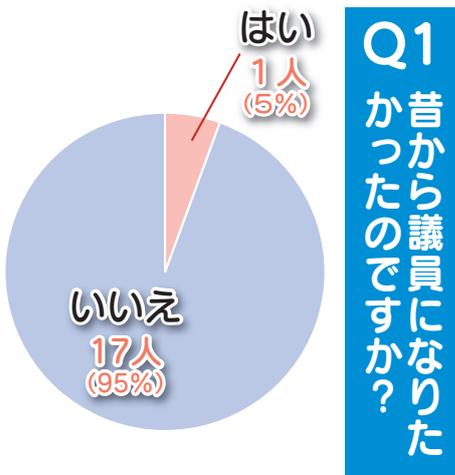
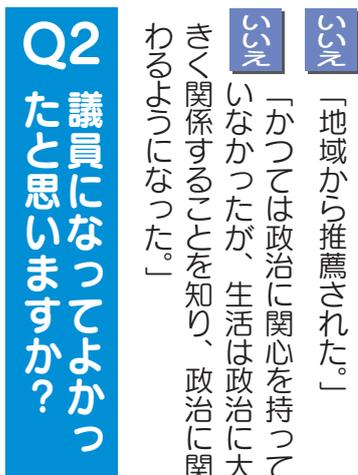
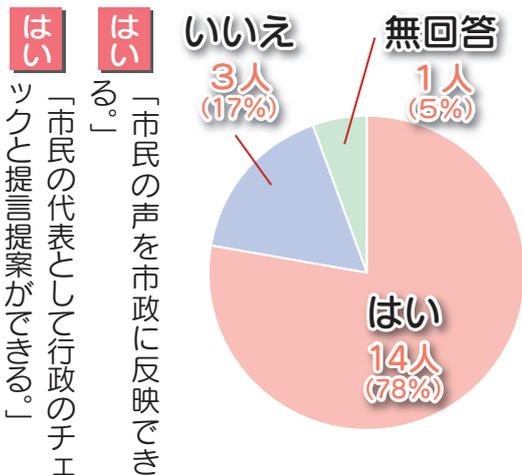


職場体験に来た高校生

# 市民は議員の そこが知りたい!

シリーズ 第3弾

議会事務局に職場体験に来た高校生が作成したアンケートに議員18人が回答しました。(アンケート実施：平成29年12月6日)  
アンケート結果を議会だよりに連載します。



**政務活動費** ホームページに掲載しました。

**政務活動費とは**  
地方自治法および茅野市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、茅野市議会議員の調査研究等に必要経費の一部として交付されるもので、支給額は、議員一人当たり年額12万円(月額1万円)です。

平成29年度政務活動費の使途一覧を茅野市ホームページをご覧ください。

茅野市ホームページ  
▼  
茅野市議会  
▼  
政務活動費

**Q5** 今の子どもたちの教育に何が必要だと思いますか?

**A** 「集団生活や農業などの体験教育。」  
**A** 「国際化と日本の文化を理解すること。」  
**A** 「生きる力をつけるための一層の教育、他人の痛みがわかる感性、自分に誇りや自信を持つこと。」

## 議会報告・意見交換会を開催しました

平成30年4月19日に平成30年度第1回議会報告・意見交換会を茅野市役所議会棟にて開催しました。

主としての開催目的は市民の皆様から多様なご意見・ご要望をお聞かせ願ひ、政策立案に結び付けることを目的とするものです。また、既議決事項へのご質問に対しては、市議会としての考え、審査・議論の経過等を説明させていただくことも目的としています。



今回は参加者及び議員を6つのグループに分けて、意見交換テーマは設けず、自由に意見を出していただきました。目的に照らし、これまでの開催結果から更に多くの方々からのご意見・ご要望をお聞かせ願うために、周知の方法や意見交換のテーマを設定して呼び掛けを行う等の、もう一段の工夫が必要かと捉えております。この点についてもお考えをお寄せいただければ幸いです。

いただいた意見等は茅野市ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

### 次回、議会報告・意見交換会開催のお知らせ

と き 平成30年10月2日(火) 午後7時から

ところ 茅野市役所議会棟 大会議室

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

## 編集室<sub>より</sub>

「ちの市議会だより」は、平成24年5月に創刊号を発行し、本号で26号、7年目に入ることになります。現在は、定例議会後の8・11・2・5月に発行をしています。

全国の地方議会、とりわけ市町村議会で議会改革が訴えられるようになり、その一環である「開かれた議会」を目指し、「議会だより」が発行されるようになり、また、「議会報告・意見交換会」も開催されるようになりました。

全国を見れば、このような取組みに至っていない議会も多々あり、茅野市議会は、先駆け、持続させ、今日に至っております。

「議会だより」と「議会報告・意見交換会」ではまだまだですが、茅野市議会は、住民の皆様いつでも開かれていること、信頼され続ける議会であることが議会改革の根底にあることをご理解願ひたく存じます。

良いにつけ、悪いにつけ議員に話をされることにならうか躊躇なさらないでください。議員はそう願っております。

議会広報部会

小尾 一郎

